



2026 年 10 月 8 日

各 位

会社名 テルモ株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 鮫島 光
(コード：4543、東証プライム)
問合せ先 経営役員 CFO、CIO 萩本 仁
(TEL. 03-6742-8500)

主要取引先との供給契約の解除に伴う損失等の計上、および 2027 年 3 月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日、当社グループの主要取引先である CSL Plasma 社との供給契約を合意解除することを決定いたしましたので、お知らせいたします。これに伴い、2027 年 3 月期（2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日）の連結決算において、下記の通り損失等を計上する見込みとなりました。また、2026 年 8 月 7 日に公表しました 2027 年 3 月期の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

1. 主要取引先との供給契約の解除について

当社の完全子会社である Terumo Blood and Cell Technologies（以下、Terumo BCT）は、2021 年に原料血漿採取領域において CSL Plasma 社と協業を開始し、同社が米国において運営する血漿採取センターに原料血漿採取システムを供給してまいりましたが、締結済みの供給契約について、両社で合意した移行期間の終了後に解除することを同社と合意いたしました。今後は、両社で合意した移行計画および移行期間に基づき、契約解除に向けた手続きを進めてまいります。

2. 供給契約の解除に伴う損失等の計上について

（1）損失等の内容

CSL Plasma 社と供給契約の解除を合意したことを受けて、Terumo BCT 関連事業の将来収益計画を見直した結果、関連資産の減損損失等の計上を含む財務影響が見込まれることとなりました。本件に伴う財務影響額は、現時点で総額約 6.1 億米ドル（約 975 億円）の損失となる見込みです。このうち、約 4.5 億米ドル（約 720 億円）は、米国における生産拠点の製造設備、機械装置、製品技術その他の関連資産に係る減損損失であり、現金支出を伴わない費用です。また、残る約 1.6 億米ドル（約 255 億円）は、移行期間中に発生する事業損失ならびに契約解除および事業再編に伴う費用等です。

これらの金額は現時点における概算であり、今後の契約交渉、移行条件および資産評価等により変動する可能性があります。当該損失による財務影響が東京証券取引所の定める軽微基準に該当しないこととなったため、公表いたします。

（2）今後の対応について

当社は今後も、中核事業である血液・細胞技術分野への経営資源の投下を継続し、高い製品品質と信頼性、そして継続的なイノベーションを通じて、血液センター、医療機関、細胞治療分野

のお客様に対するソリューションの提供に取り組んでまいります。

3. 通期連結業績予想の修正

上記損失を反映し、2027年3月期の通期連結業績予想を修正いたします。当該修正額が、東京証券取引所の定める軽微基準に該当しないこととなったため、公表いたします。

(1) 2027年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2026年4月1日～2027年3月31日)

	売上収益 (百万円)	調整後 営業利益 (百万円)	営業利益 (百万円)	親会社の所有者に帰属 する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	1,239,000	274,500	257,500	193,100	130.91
今回修正予想 (B)	1,229,500	274,500	160,000	120,000	81.35
増減額(B-A)	-9,500	-	-97,500	-73,100	-
増減率	-0.8%	-	-37.9%	-37.9%	-
(参考)前期実績 (2026年3月期)	1,131,877	219,369	176,320	135,914	92.14

*調整後営業利益については、今回の減損損失の計上に伴い、将来の償却費負担が軽減されること等から、約20億円の利益押し上げ効果を見込んでおります。また、2026年9月30日に公表したArsenal Medical社の買収に伴い、研究開発費等で約20億円の費用を見込んでおり、当該費用についても今回の業績予想に織り込んでおります。

(2) 修正の理由

CSL Plasma社と供給契約の解除を合意したことを踏まえて、関連資産の減損損失に加え、移行期間中の事業損失ならびに契約解除および事業再編に伴う費用等を反映し、営業利益および親会社の所有者に帰属する当期利益について、通期の業績予想を下方修正いたします。

(注) テルモが開示する情報のうち、業績予想をはじめとする将来予測は、現時点で入手可能な限られた情報に基づき、テルモで判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのためさまざまな要因により、実際の業績等が変動する可能性があります。実際の業績に影響を与えうる重要な要素には、テルモの事業領域を取り巻く経済情勢、為替レートの変動、競争状況などがあります。

以上